

## 【東京2025デフリンピック結果】

## 東京パワーテクノロジー 2026年度入社予定内定者 瀧澤諒斗選手 デフサッカー 準々決勝vsアメリカ戦 途中出場 1-0で日本代表が勝利、決勝へ進出

エネルギー分野を中心に幅広い事業を展開する東京パワーテクノロジー株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：本橋 準、以下当社）は、「多様な価値観や経験を有する人財の活躍が、新たな価値の創出につながる」という考えのもと、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）を推進しています。その一環として、聴覚に障がいのあるアスリートの競技活動を会社として支援しており、現在開催中の「東京2025デフリンピック」に当社所属・支援選手が日本代表として出場しております。

このたび、2026年度入社予定内定者の瀧澤諒斗選手が、デフサッカー準決勝 日本vsアメリカ戦に、後半から途中出場、1-0で日本が勝利し、決勝進出が決定しましたことをお知らせします。

当社は東京2025デフリンピックのトータルサポートメンバー・ゲームズサポートメンバー企業として、所属選手をはじめ日本代表選手の挑戦を全力で応援していきます。



### 瀧澤諒斗選手 競技後コメント

応援ありがとうございました！  
1-0でリードしている状況の中、後半残り15分頃から出場しました。  
自分の持ち味であるフィジカルを活かし、ボールキープで時間を作るなど、チームのためにいい動きができたと感じています。

次はいよいよ“世界一”を懸けた決勝です。  
ここまで来たからには、必ず世界一を掴みにいきます。  
引き続き応援よろしくお願いいたします！



# 当社のD&Iに関する取り組みについて



当社所属・支援選手（東京2025デフリンピック日本代表選出種目）

〔写真左から〕 遠山莉生選手（男子ハンマー投・2026年入社予定内定者）、門脇翠選手（女子4×100mリレー・4×400m男女混合リレー）、長内智選手（男子800m）、瀧澤諒斗選手（男子サッカー・2026年入社予定内定者）、北谷宏人選手（男子棒高跳び）

当社は「多様な価値観や経験を有する人財の活躍が、新たな価値の創出に繋がる」との考えのもと、「女性活躍・障がい者雇用」のさらなる推進、障がい者へのスポーツ支援等を通じた共生社会の実現など、企業価値の創造を目的に、アスリート支援の施策を行っております。

その一環として、当社は**東京2025デフリンピックへの協賛**や、**日本デフ陸上競技協会とのパートナーシップ契約**、**日本ろう者サッカー協会とのオフィシャルパートナー協定**を締結し、障がい者スポーツの発展と普及を積極的に支援しています。

現在、当社では門脇 翠・長内 智・北谷 宏人の3名が所属し、さらに内定者の瀧澤 諒斗・遠山 莉生（2026年4月入社予定）を加えた計5名のデフアスリートをサポートしております。所属アスリートは競技での活躍にとどまらず、社内外のイベントや情報発信を通じて、努力する姿勢や多様性を尊重する価値観を広め、障がい者スポーツへの理解促進や社内のダイバーシティに対する意識の向上にも貢献しています。こうした取り組みを通じ、当社は今後も、共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

## <当社会社概要>

会社名：東京パワーテクノロジー株式会社

代表者：代表取締役社長 本橋 準

本社所在地：〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目5番13号

説立日：2013年7月1日

事業内容：環境事業・火力産業プラント事業・原子力事業・土木建築事業・保険ソリューション事業等

●当社URL：<https://www.tokyo-pt.co.jp/>

●当社アスリートサイトURL：<https://www.tokyo-pt-recruit.jp/athlete/>